

# 平成24年3月期 決算説明資料

平成24年6月7日  
株式会社セレスポ

# 平成24年3月期 決算概要

# 平成24年3月期の総括

- 売上に関しましては、事業年度上期を中心に震災の影響による各種イベントの中止や延期が続いたが、下期に入り官公庁や法人需要を中心に各種イベントが増加した。セールスプロモーション部門、フェスティバル部門、セレモニー部門、レクリエーション部門、コンベンション部門のいずれも対前期比減収となったものの、スポーツ部門の大幅増収により、トータルでは対前期177百万円増の7,555百万円となりました。
- 利益に関しましては、各種原価の低減、販売費および一般管理費等の経費削減を実行し、収益力の改善に努めました。営業利益は、281百万円増の46百万円、経常利益は、対前期333百万円増の135百万円、当期純利益は、対前期347百万円増の85百万円となりました。

# 平成24年3月期 貸借対照表 (資産の部)

単位:百万円

科目	今期	前期	前期比	備考
流動資産	2,065	1,644	126%	現金及び預金・ 受取手形・売掛 金の増他
固定資産	4,596	4,783	96%	繰延税金資産 の減他
有形固定資産	3,858	3,891	99%	
無形固定資産	44	59	75%	
投資その他の資産	693	832	83%	
資産合計	6,662	6,428	103%	

# 平成24年3月期 貸借対照表

(負債・資本の部)

単位:百万円

科目	今期	前期	前期比	備考
流動負債	2,192	1,731	127%	
固定負債	876	1,123	78%	退職給付引当金の減他
負債合計	3,069	2,855	108%	
資本金	1,370	1,370	100%	
資本剰余金	2,155	2,155	100%	
利益剰余金 (内当期純利益)	184 (85)	115 (▲262)	160%	
評価・換算差額等	▲56	▲6	—	
自己株式	▲62	▲62	—	
資本合計	3,592	3,573	100%	

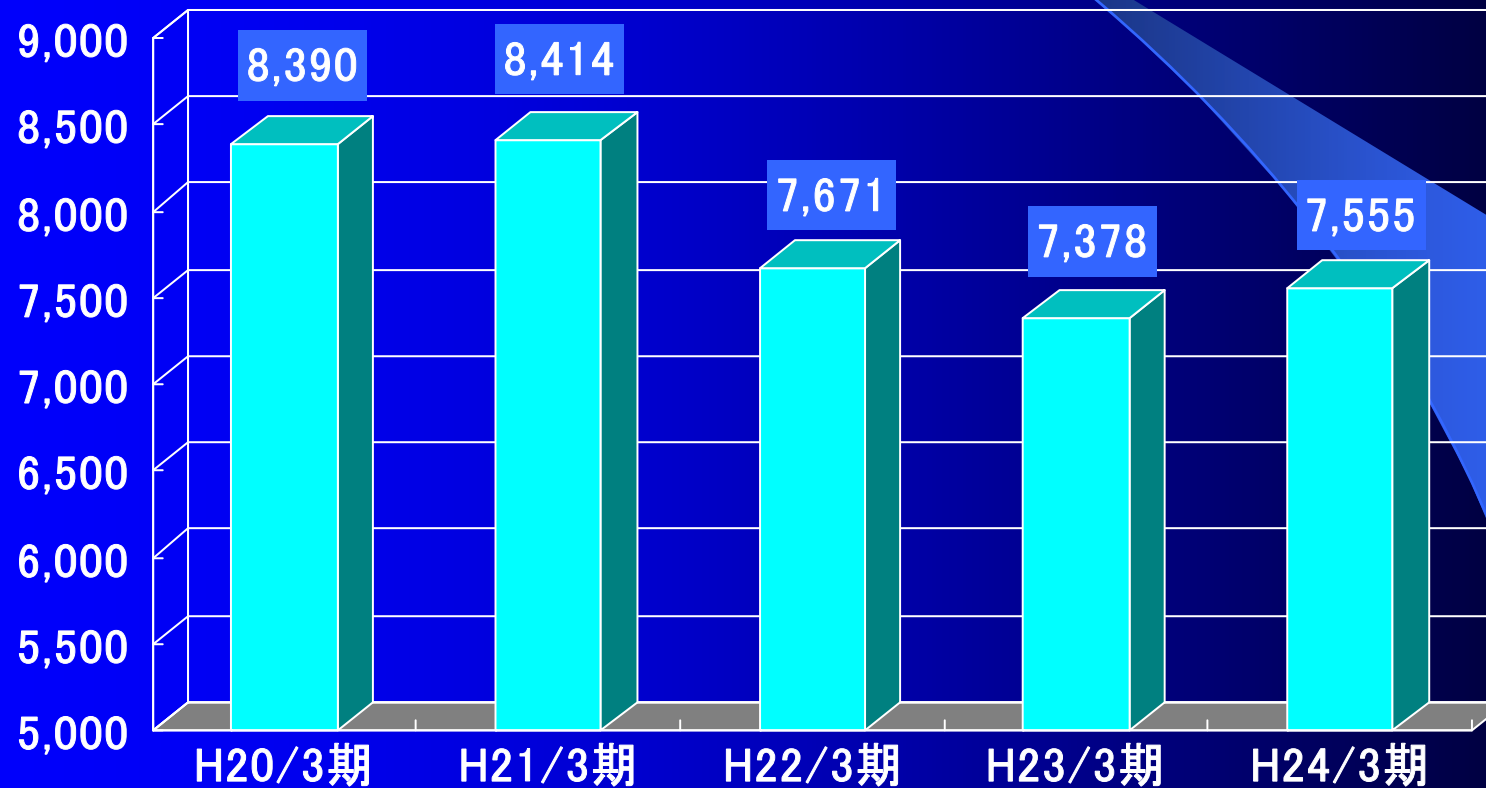
# 平成24年3月期 損益計算書

単位：百万円

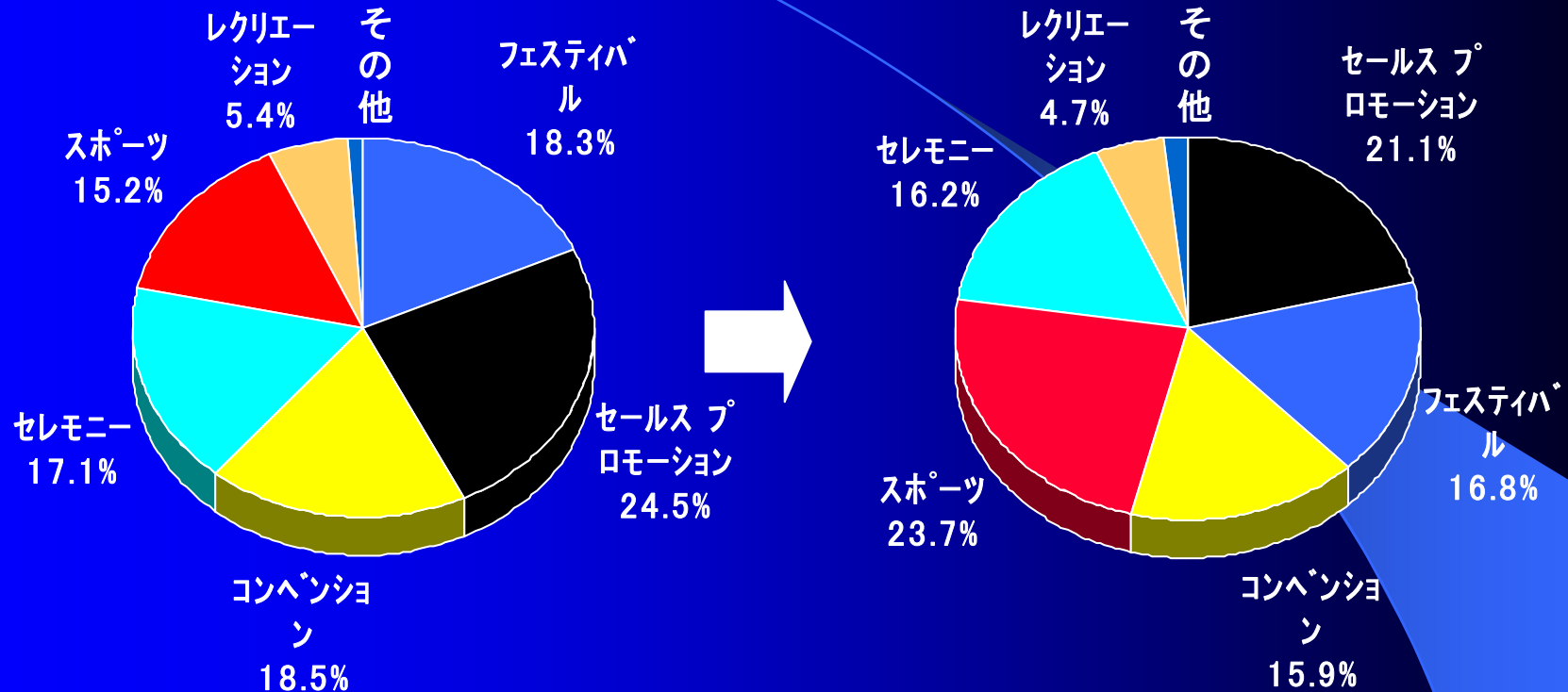
	今期	前期	前期比	備考
売上高	7,555	7,378	102%	
営業利益	46	▲235	—	
経常利益	135	▲198	—	
税引前 当期純利益	225	▲244	—	
当期純利益	85	▲262	—	
1株当り 当期純利益	15円60銭	▲47円77銭		

# 売上の推移

単位:百万円



# 売上構成比の比較



**H23/3期**

**H24/3期**

- スポーツ増.....(15.2%→23.7%)
- セールスプロモーション減.....(24.5%→21.1%)
- フェスティバル減.....(18.3%→16.8%)
- セレモニー減.....(17.1%→16.2%)
- コンベンション減.....(18.5%→15.9%)
- レクリエーション減.....(5.4%→4.7%)



# 部門別前期比分析

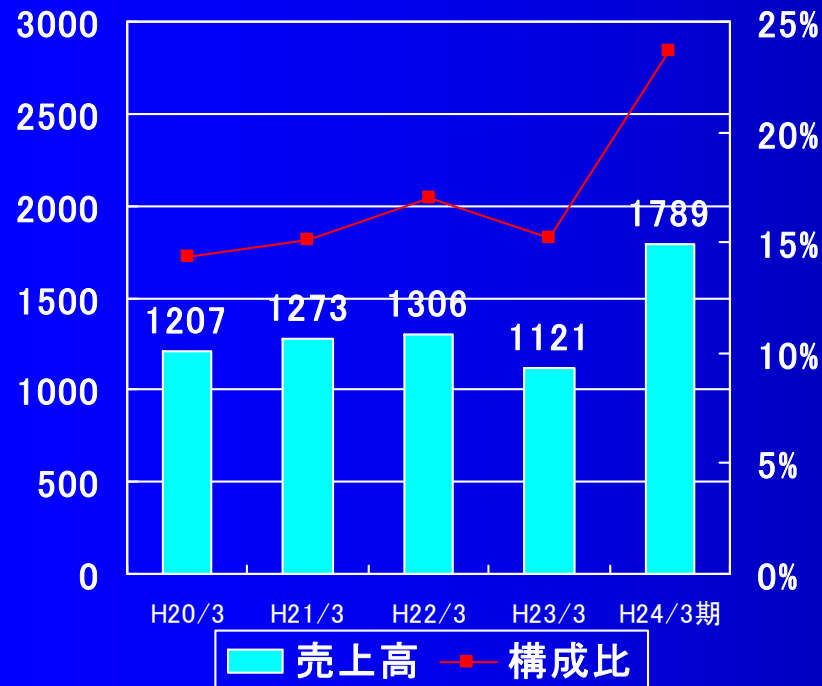
- スポーツ部門  
アジア陸上競技選手権大会やトリアスロン競技大会等の新規受注による増収  
対前年比: 159.5%
- セールス・プロモーション部門  
展示会・販売促進等の減少による減収  
対前年比: ▲12.1%
- フェスティバル部門  
地域振興・防災訓練等の減少による減収  
対前年比: ▲6.2%
- セレモニー部門  
竣工式等の減少による減収  
対前年比: ▲2.7%
- コンベンション部門  
記念式典・パーティー等の減少による減収  
対前年比: ▲12.0%
- レクリエーション部門  
運動会・納涼祭等の減少による減収  
対前年比: ▲9.1%

# 主要部門の売上高推移(1)

売上高  
百万円

## スポーツ

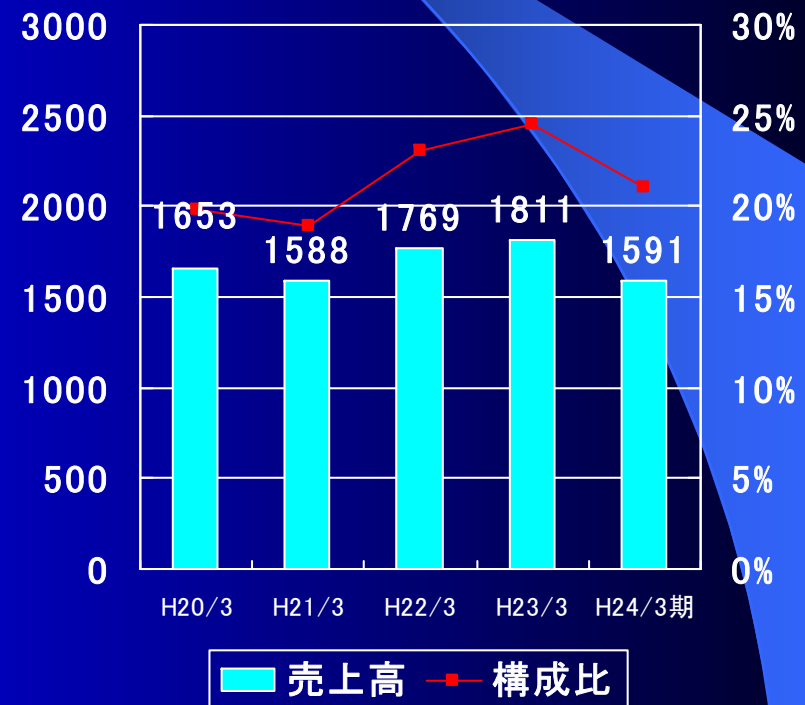
構成比



売上高  
百万円

## セールス・プロモーション

構成比

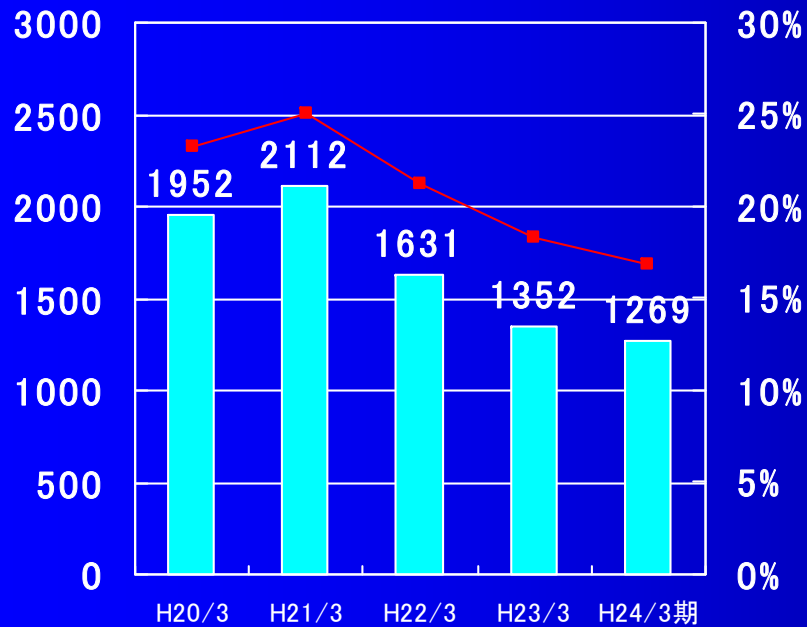


# 主要部門の売上高推移(2)

売上高  
百万円

## フェスティバル

構成比

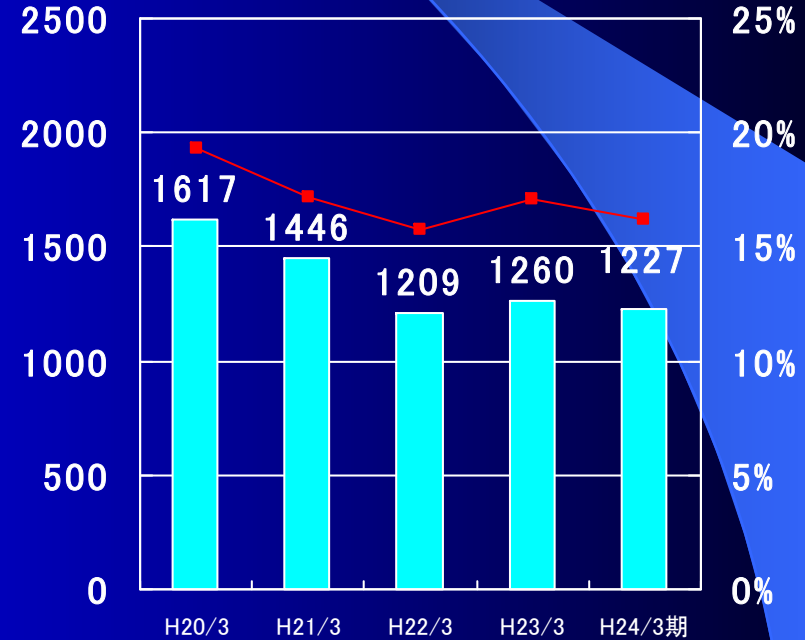


■ 売上高 ■ 構成比

売上高  
百万円

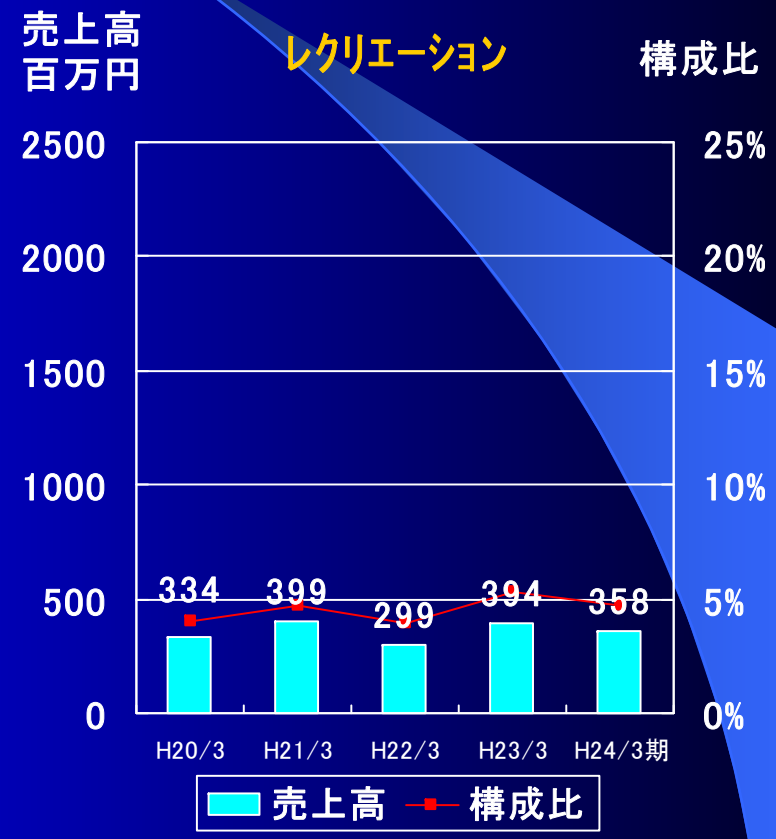
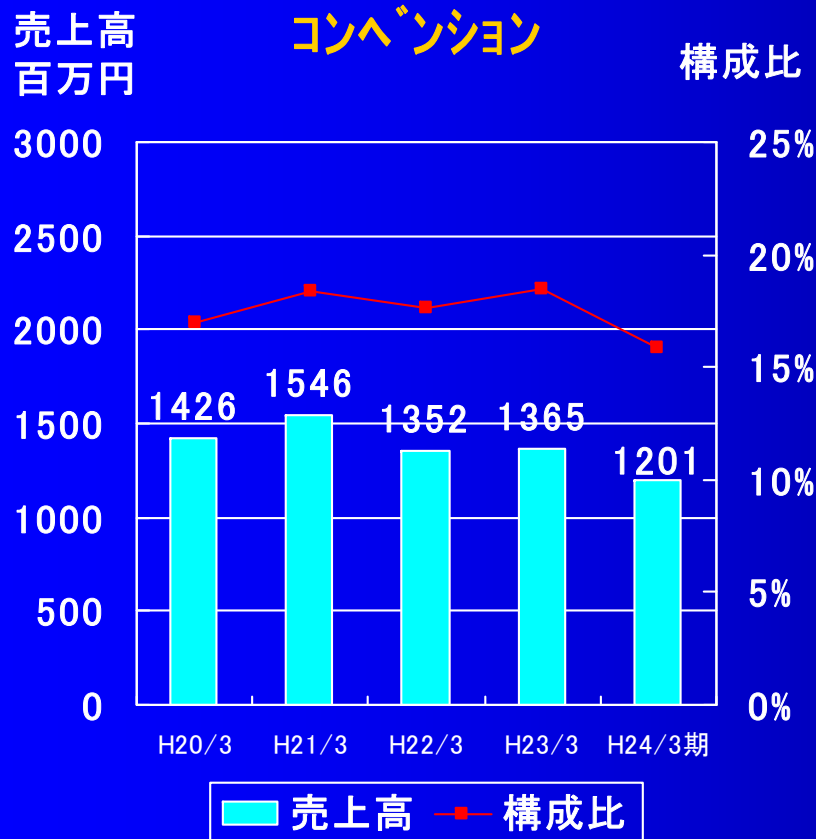
## セレモニー

構成比



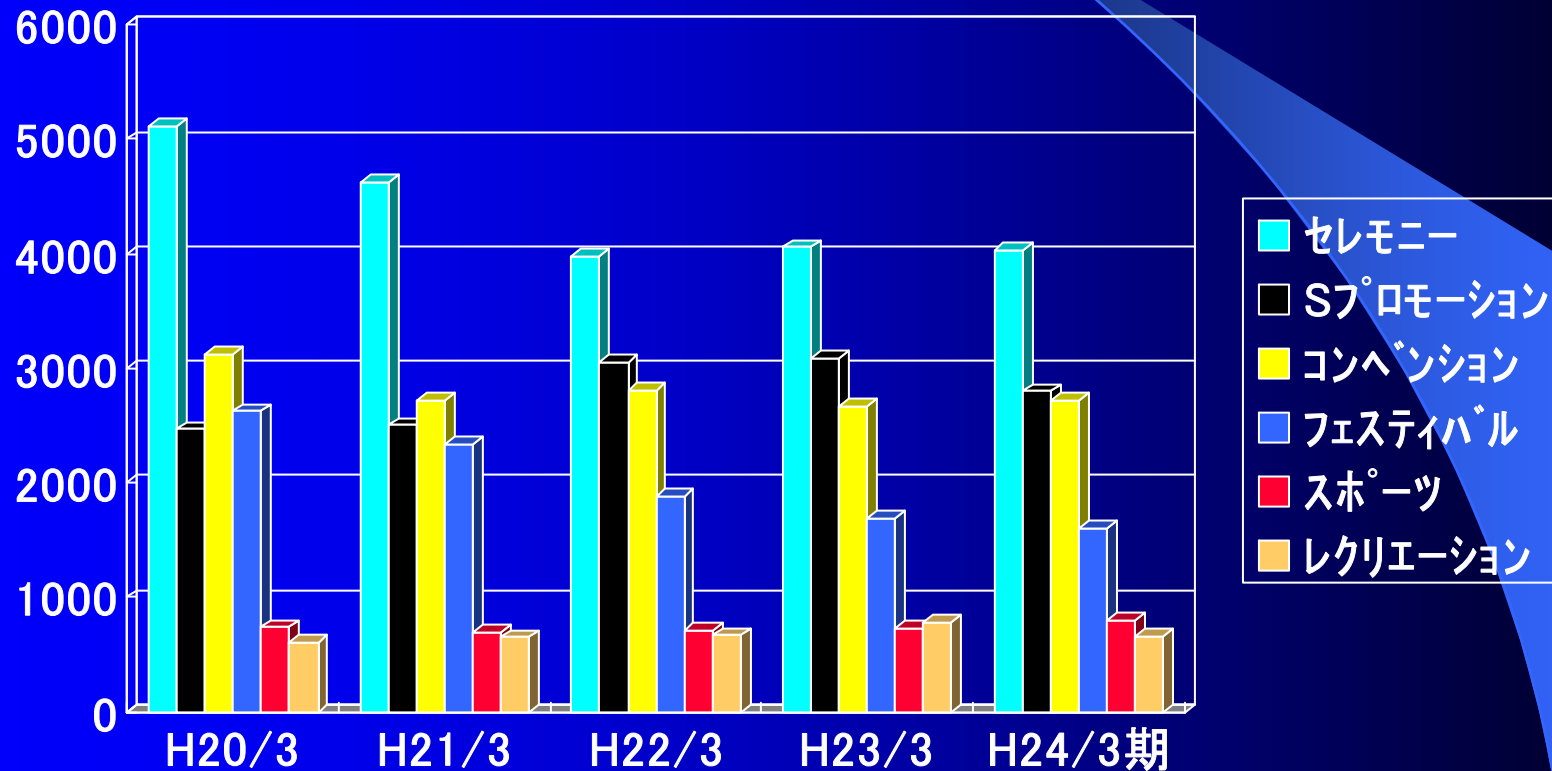
■ 売上高 ■ 構成比

# 主要部門の売上高推移(3)



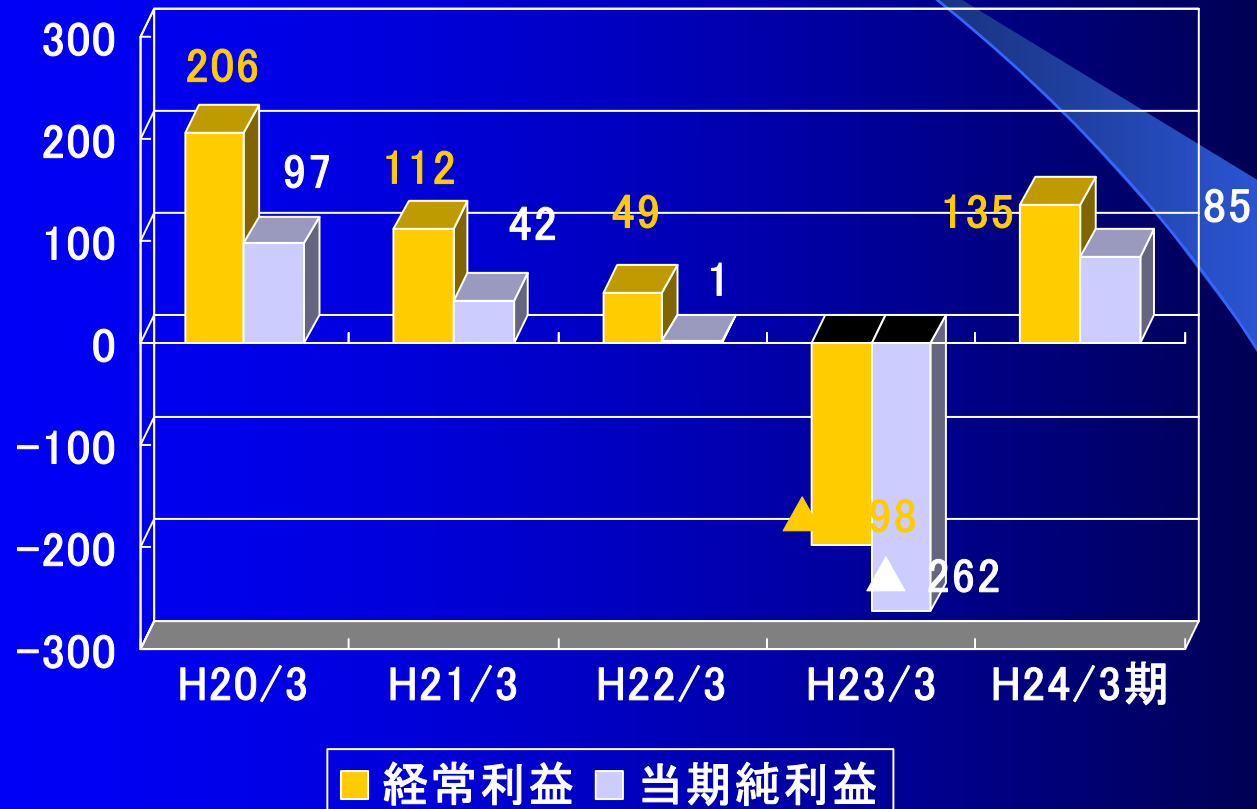
# 催事件数の推移

催事件数



# 利益の推移

単位：百万円



# 平成25年3月期 業績予想

# 平成25年3月期 業績予想

単位:百万円

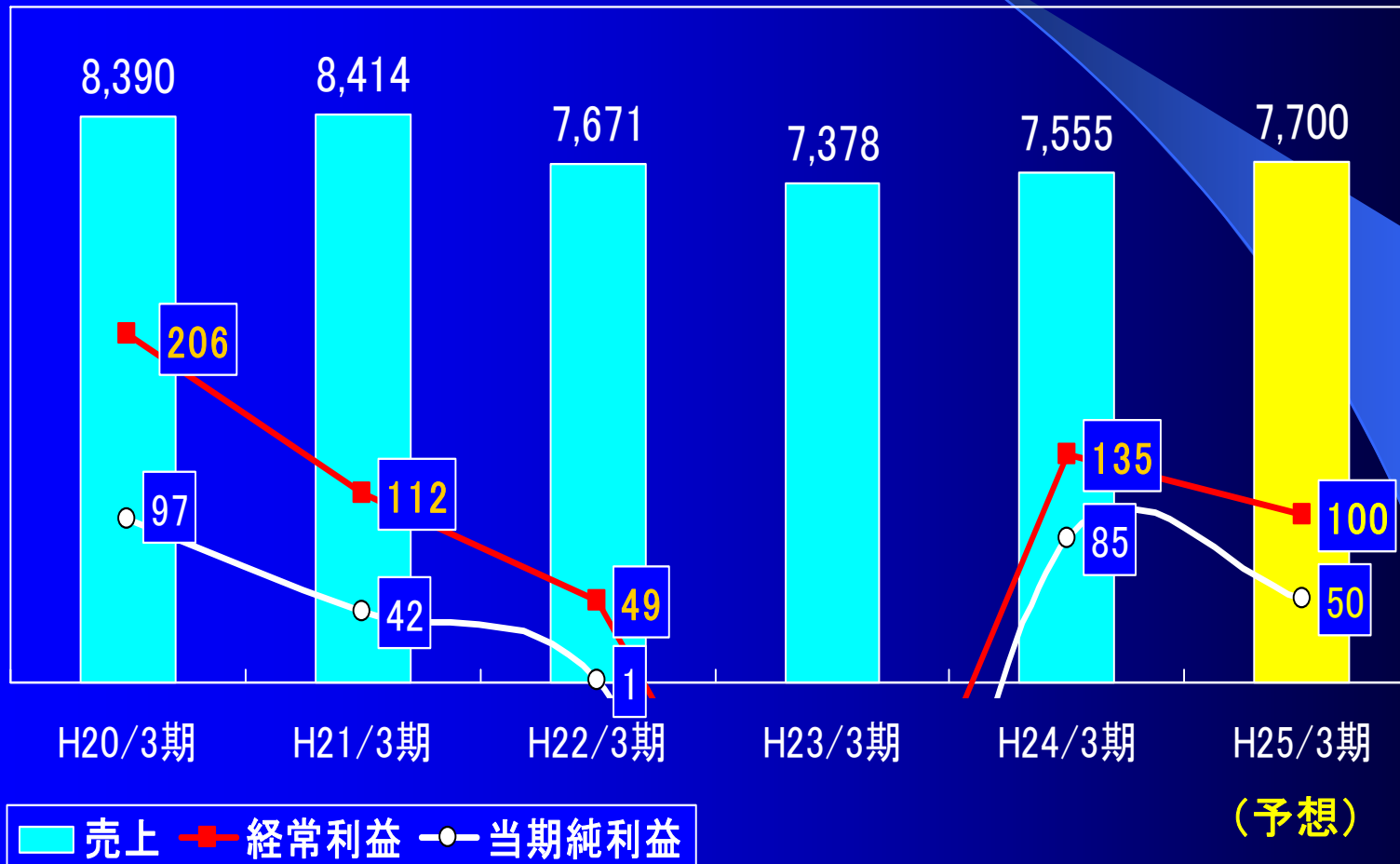
	当期(予)	前期	前期比	備考
売上高	7,700	7,555	102%	
営業利益	60	46	130%	
経常利益	100	135	75%	
当期純利益	50	85	58%	



# 売上・利益推移(予想)

売上:百万円

経常利益:百万円  
当期純利益:百万円



参 考

# 当社の経営方針

当社は、平成20年4月より新体制となったのを機に、会社経営の基本に新しい考え方を導入しました。

それは…

当社を取り巻く、株主・顧客・取引先・社員などのステークホルダーとWIN-WINの関係を築くことを、すべての活動の起点にしようというものです。

従来の「集い創りの裏方に徹する事をもって、人間社会の円滑なる発展に貢献する」という経営理念も大切にしていきながら、この新しい考え方を基に、時代に即した対応を行っていくことで、株主・顧客にご満足いただけるような会社となるべく努力して参ります。

# 中長期的な経営戦略

## ①当社の優位性の確保とその維持

- 全国展開拠点による地域密着型営業＋大型案件に対する機動的事業活動を行う
- ユニバーサルデザイン化されたイベント会場の提案（ユニバーサルライフ研究所）を行う
- 震災に備えた緊急避難所設置協定（クイック24）により、地方自治体への優位性を基に展開を図る。
- 全国持回り大型イベント（国体・インターハイ等）の蓄積されたノウハウを発揮して差別化を図る

# 中長期的な経営戦略

## ②新規分野への積極的な参入

- 建築式典・官公庁イベントに続く柱として、企業の販売促進イベントやスポーツ関連、今までにない新分野への参入を積極的に行なう
- 企業の販売促進イベントは、2012年より社内に専門部署を新設して事業拡大を図る
- スポーツ関連での各種スポンサーシップ獲得による企業認知度向上を図り、業務拡大と深耕を図る  
⇒ 日本陸上競技連盟、日本トライアスロン連合、日本トップリーグ連携機構、日本ハンドボールリーグ機構等

## ③総合的受注体制の確立

- 今までの営業力、会場設営能力の更なる向上に加え企画・制作・運営能力を持った社員の育成と専門スタッフの強化を図る
- イベント会場設営の一部を外注設営に移行させながら、営業活動・制作活動へ軸足を移し、顧客起点に立ったサービスの充実によるシェア拡大を図る

# 対処すべき課題

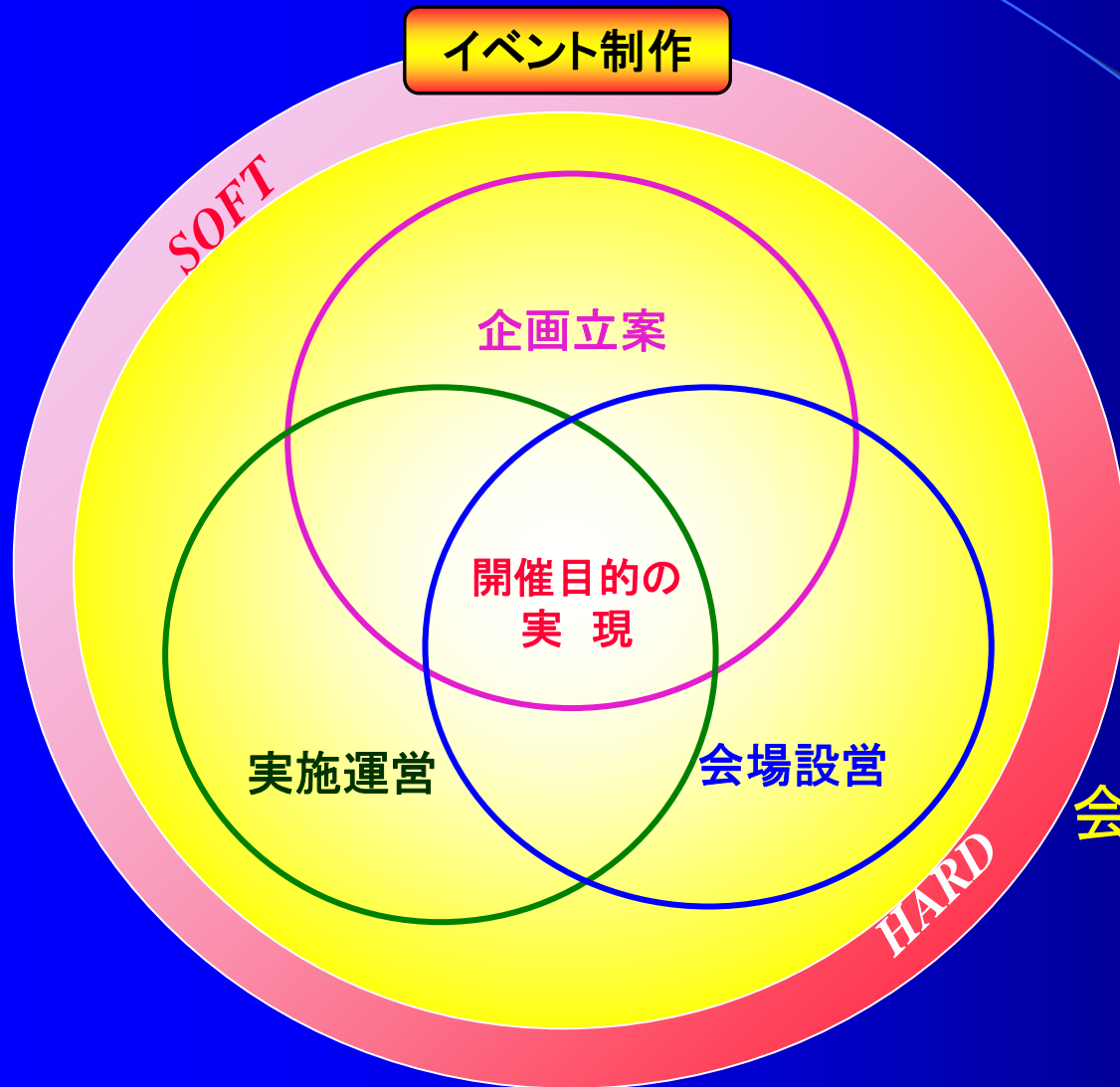
- 法人・官公庁を中心に予断を許さない状況にあり、イベント・プロモーション需要についても大幅な伸びが期待できず、不透明な状況が続くものと予想される
- 収益の安定化と拡大を目指す



- イベント・プロモーションの総合請負企業へと発展・拡大する新中期経営計画の策定
- 企画・制作・運営機能を含む総合的な機能を充実させた「イベントソリューションパートナー企業」を目指す
- 効率的な組織運営を推進すると共に、基幹システムの刷新等により更なる利益管理の徹底を行う

# FAQ1: 当社の事業領域は？

— イベント制作の3要素 —



イベントの開催目的を実現させる機能として、次の3要素が不可欠

- ・ 企画立案
- ・ 会場設営
- ・ 実施運営



当社はイベントの会場設営業からスタートし、企画・運営まで事業領域を拡大（総合請負企業）

# FAQ2: 部門の概要は？

当社の部門(ドメイン)は以下の7つに区分されています。

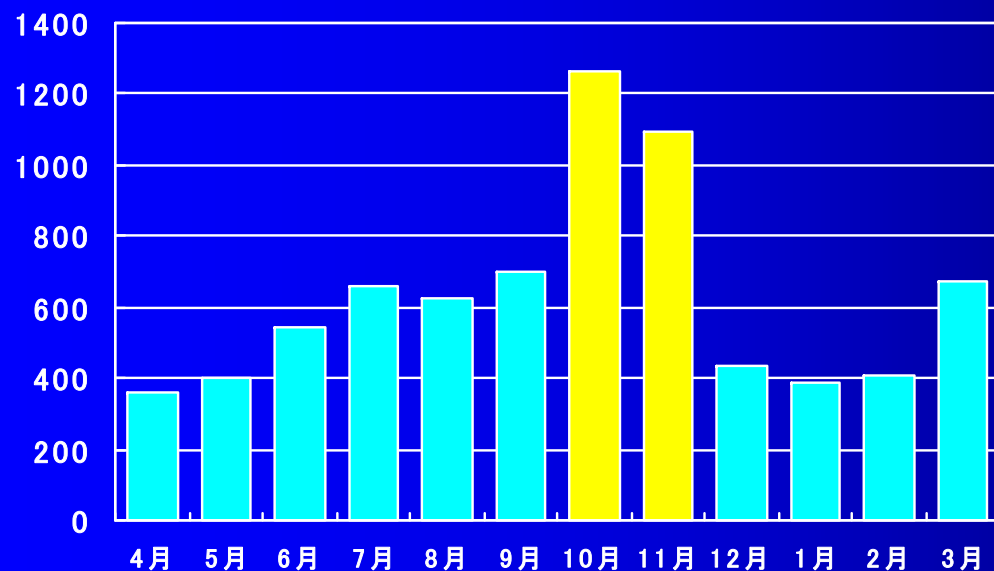
ドメイン	内容	主要商品
スポーツ イベント	スポーツに関連した催事等	陸上競技・トライアスロン・国体・インターハイ・ゴルフ・Vリーグ
セールス プロモーション	企業が行う販売促進を目的とした催事等	展示会・キャンペーン
フェスティバル	主に官公庁が行う地域振興催事等	市民祭・産業祭
セレモニー (建設式典)	建築・土木に伴う式典等	地鎮祭・竣工式
コンベンション	団体・企業が行う集会催事等	記念式典・会議
レクリエーション	企業が行う福利厚生を目的とした催事等	運動会・納涼祭
その他	上記以外	



# FAQ3: 季節要因は？

百万円

過去5年平均月別売上高



各月売上高比率



約29%

屋外イベント、スポーツ大会が数多く開催される  
10月・11月が、当社にとっての繁忙期

# FAQ4: やさしい社会のために (1)

## ● ユニバーサルライフ研究所

イベント会場のバリアフリー化を目指し、

1999年 業界初のバリアフリーライフ研究所設立

2010年 バリアフリーからユニバーサル構想への拡大に伴い「ユニバーサルライフ研究所」に改称

## ● クイック24

震災に備えた緊急避難所設置(要請から24時間以内)に関する地方自治体との協定

協定先: 45市区町村(平成24年3月時点)

## FAQ4: やさしい社会のために (2)

- イベント会場で使用する各種資機材にエコ対応を実施
  - ◆ 環境に配慮したゴミ袋の使用
    - 古紙・粉殻を混入することにより燃焼時のCO2発生が大幅に削減できるポリ袋を使用
  - ◆ エコ素材のテーブルクロスの使用
    - 上記ポリ袋と同じ素材のテーブルクロスを使用
  - ◆ リサイクル可能なパイプ椅子の使用
    - 廃棄時は簡単に分解し、スチール・アルミとPP樹脂に分別／リサイクルが可能
  - ◆ カーペットのリサイクル
    - 再処理時、RPF(固形燃料)にリサイクルすることによりCO2削減
  - ◆ 廃棄資材のリサイクル
    - 当社流通センターでは、壊れた資材の素材成分を分析し、プラスチック素材を中心にRPE(固形燃料)にリサイクル

## FAQ4: やさしい社会のために (3)

2011年3月11日に発生した東日本大震災に対しましては、震災発生後より当社として貢献可能な分野を中心に支援活動を行っております。

### ● 東日本大震災に係わる弊社活動

- ◆ テント資材の大量輸送
- ◆ 義援金の募集
- ◆ 炊き出し会場の設営
- ◆ スポーツ団体による被災地慰問活動応援
- ◆ 災害復旧ボランティア施設設置
- ◆ 復興イベントの企画提案

本資料に関するお問合せ

株式会社セレスポ  
人事総務部

TEL:03(5974)1111

E-mail:[ir@cerespo.co.jp](mailto:ir@cerespo.co.jp)